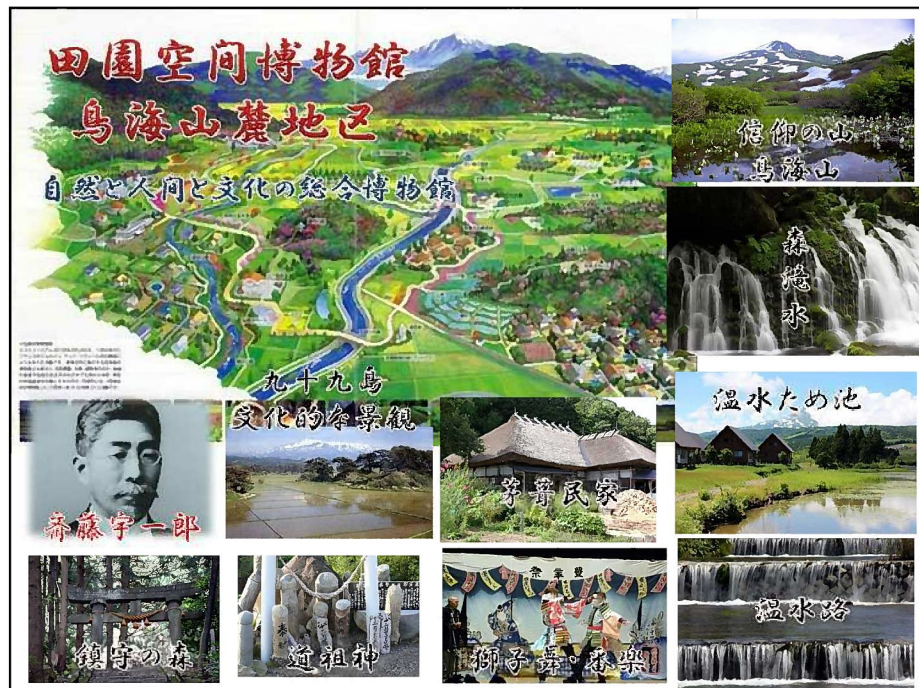
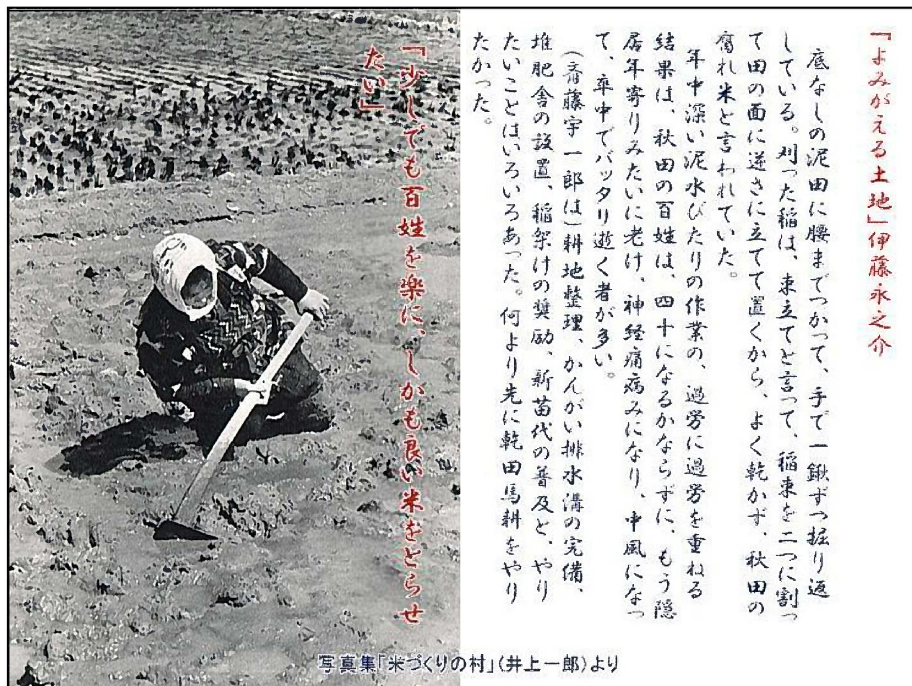
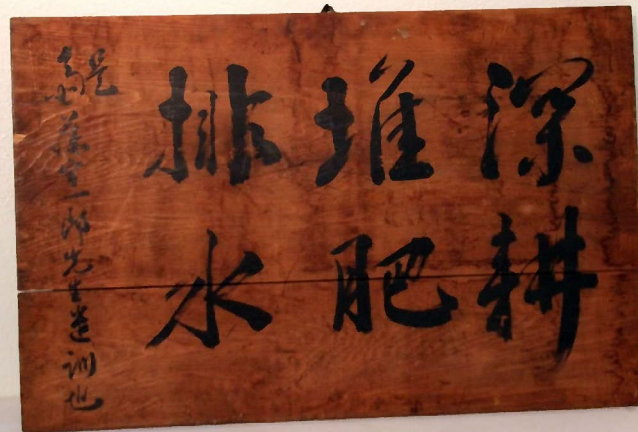








「堆肥」を増やして生産増⇒「深耕」によって効果發揮
 ⇒人力から馬耕へ⇒湿田から乾田へ「排水」改良
 ⇒乾田馬耕は一体で推進



農業三是

乾田馬耕の普及に着手、しかし...

「稲はマコモと同じく沼や谷地に育つもの、田を畑に変えて、馬で耕すとは...とてもない」と猛反対。



① まずは自分で実践し、その成果をみせる⇒斎藤宇一郎試作田を設置
 ...石川理紀之助が草末谷で貧農生活実践と同じ

② 乾田に改めた結果、不作になったら、その損失を保証するという証文まで書いて納得させた話は有名

処世訓「功は人に譲り 責は己が負う」生涯実践した人格者

写真集「米づくりの村」(井上一郎)より

- ① 5年後の明治37年、平沢町では90%が乾田農法へ
⇒秋田の腐れ米の汚名返上
- ② 県でも乾田農法の良さを認め、明治38年、乾田馬耕、堆肥舎の設置、稲の束立て禁止の法を定めた
- ③ 乾田馬耕が普及→耕地整理へ



酒田から技師を雇った馬耕指導（明治33年頃）

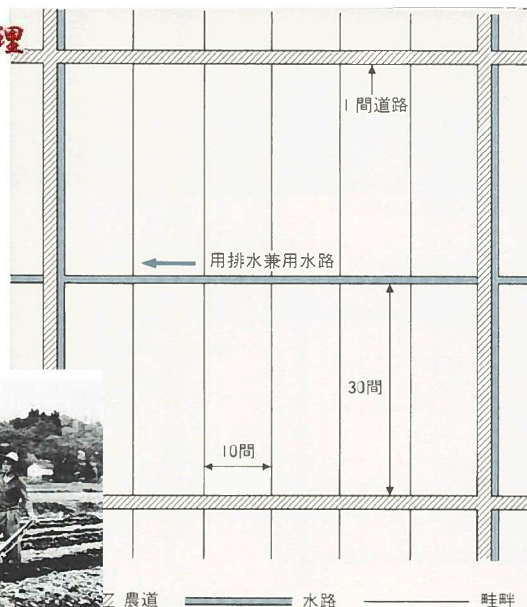
写真「斎藤宇一郎を偲ぶ」より

明治時代の耕地整理

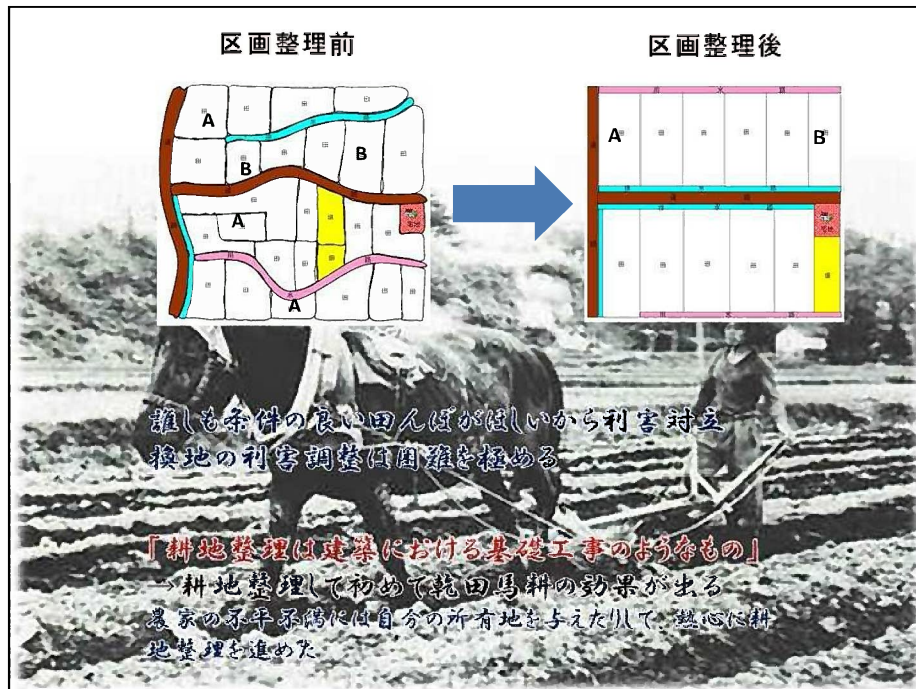
- ① 区画の大きさは…
30間(54m)×10間(18m)=約10a
- ② 農道の幅は…1間農道=1.8m
- ③ つぶれ地が少なく、整備前より作付け面積が増えた
- ④ 収量はどれだけ増えたか…
10a当たり240kg→300kg 25%増
米質向上



「写真集 雄和に生きる」より



埼玉県コウノス式耕地整理
一般的に採用された鴻巣式耕地組織



地区名	代表者	工事着手	地権者数	整理前面積	整理後面積
平沢町外	斎藤宇一郎	M43.6.30	436	507	531
小出村外	斎藤宇一郎	M44.12.7	277	297	322
院内村	斎藤宇一郎	T3.1.18	296	307	317
上郷村横岡	斎藤宇一郎	T4.9.1	28	12	18
計4地区			1,037	1,123	1,188

耕地整理4地区、1,200ha
 工事は明治43年～大正11年まで13年間、
 利害調整を含め約15年に及ぶ

秋田県土地改良史

写真集「米づくしの村」(中井一郎)より

種苗交換会三大先覚者



写真：「寄藤室一郎を偲び」より



写真：「斎藤宇一郎を偲ぶ」より

